

師弟同行

平成28年1月8日(金)

第9号

発行者 相馬 郁夫

教育目標(目指す生徒像)～ 学びとる力 思いやる心 たくましい体 ～

□Y. R君3年連続一位で特別賞受賞／校内長距離走大会

12月9日(水)、協和中周辺の農道を利用して校内長距離走大会が行われました。生徒達は、大会に向けて体育の授業を中心に練習を重ね、一人ひとり自分の限界に挑戦しました。3年生男子の部で一位になったY. R君は、3年連続一位の特別賞を受賞しました。

尚、走った距離は、女子が2.1km、男子が4.2kmです。

【長距離走大会の目的】

- ① 周囲と励まし合い最後まで走り抜く態度を育てる。
- ② 長距離を走ることによって持久力を高め、心身を鍛え学校生活に生かす。
- ③ 健康・安全に留意して、練習・競技する態度を育てる。

上位15位まで表彰されましたが、紙面の都合で3位までの入賞者と記録を下表に示します。



	1位	記録	2位	記録	3位	記録
1年女子	H. R	8'38 41	T. H	9'11 49	O. M	9'14 34
1年男子	M. K	13'38 24	M. D	14'23 78	H. D	14'58 83
2年女子	E. M	8'10 43	K. R	8'26 14	U. N	8'27 59
2年男子	S. Y	14'09 07	H. T	14'13 35	O. K	14'17 42
3年女子	S. H	7'54 08	Y. Y	8'09 11	H. Y	8'38 77
3年男子	Y. R	13'19 87	I. R	13'57 95	N. N	14'18 11

□は、大会新記録です。

□協和中の劇が取りを飾る／よい子の学習発表会



11月27日(金)市民会館において、よい子の学習発表会が行われ、おぎ・そよ学級の生徒達が劇を演じ、発表会の取りを飾りました。

『「おぎ・そよンジャー」タイムスリップするの巻』という題名で、うっかり開けてしまった箱の中から出てきた歴史をいたずらしようとする悪人を、おぎ・そよンジャーが追いつめ元の

箱に閉じこめるというストーリーで、劇の中に出てくる歴史上の偉人の紹介をしていく構成になっています。脚本も自分たちで考え、長い台詞もしっかり覚え、立派に発表することができました。同時展開で、生徒達が作った作品の展示と生徒達の手作り商品の販売が行われました。

□足のしびれを我慢しながら・・・一つの精神修養／論語素読体験

11月30日(月)、12月1日(火)、2日(水)の3日間1日2クラスずつ2年生を対象に史跡足利学校の方丈の間において論語素読体験が行われました。生徒達は、足のしびれを我慢しながら静かに講師の先生の話しに耳を傾けていました。方丈の間は、雨戸を開け放した状態でしたので寒さもあり、一つの精神修養にもなっていたように思います。終わって立ち上がったときよろける生徒もいましたが、それも含めて、まさに論語の素読体験でした。



□学校アンケート結果から分かる傾向を以下にまとめてみました

- 宿題の実施状況に関する評価について生徒、保護者ともに不十分と判断しています。
 - 最も高評価の項目は、生徒はきまりマナー遵守、保護者は学校からの情報発信の項目でした。
 - 教室環境、掲示物等の整理整頓がなされているという項目は生徒、保護者とも高評価でした。
 - 「子どもは授業の内容が分かりやすいと言っている。」という項目は、低いにもかかわらず、生徒の「先生は工夫して分かりやすく教えてくれる。」という項目は高い評価になっている。
- 尚、自由記述の要望については、後日教職員で検討し回答できるものは回答したいと思います。

□本校出身のメゾソプラノ歌手関奈美さんが公演／PTA教養講座

12月9日(水)5校時に、本校体育館においてPTA教養部主催でPTA教養講座が行われ、本校出身のプロのメゾソプラノ歌手関奈美さんの美しい歌声を聴くことができました。また、関さんの伴奏者としてチェンバロ奏者の大村千秋さんが来てくださりチェンバロの演奏も聴くことができました。途中でみんなで関さんと一緒に校歌を合唱する場面もありました。公演後、興味のある生徒達を対象に、滅多に見ることのできない古楽器チェンバロをさわらせてもらいました。また、当日は関さんのご両親も会場に来てくださり、ふるりに錦を飾った娘さんの晴れの舞台を見守って下さいました。

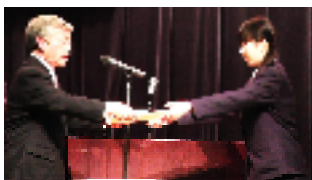


□早い時期の防災意識を持たせたい／防災共育ワークショップ



12月4日(金)1年生を対象に防災共育ワークショップが行われました。この取り組みは本校では、3年目で、例年2年生を対象に2月に実施していましたが、今年度に限り1年生も実施してもらうことにしました。2年生の2月では中学生として防災意識を持ってもらうためにもっと早い時期に防災意識を持たせたいという思いからです。このワークショップは、市内のPTAOB会の方々が行ってってくれています。「教育」ではなく「共育」としたのは、共に考え防災意識を育てるという思いを込めているとのことでした。2月に2年生も実施します。

□最優秀賞！視覚障害者が見ている暗い世界に色を／人権作文表彰式



12月5日(土)市民プラザ小ホールにおいて、人権ポスター・書道・作文表彰式が行われ、本校から作文の部で3年生のO.Mさんが最優秀賞に、1年生のK.Hさんが佳作に選ばれました。Oさんの作文は「目の不自由な人の気持ちになって」という題名で、目の不自由な人とバーベキューをした時の体験から学んだことを感性豊かに表現していました。その一部を紹介します。「そして

今この瞬間も目にしている様々な風景や色を目の不自由な人の代わりに見てそれを伝え、普段視覚障害者が見ている暗い世界に色を付ける、そんなお手伝いをする・・・」など心温まる内容でした。K.Hさんの作文は「差別をなくすボタン」という題名で身近な体験から差別のもつ人権侵害について考察していました。



□断る勇気の大切さを指導／薬物乱用防止講演



12月14日(月)、6校時を利用して、全校生を対象に体育館において薬物乱用防止演劇が実施されました。今年度は、劇団三十六計の方々が来てくださり、身近にある薬物乱用に引き込まれる危険性を演劇を通して示して下さいました。受験を控えた普通の中学生の女の子が、卒業生の先輩から誘われ、軽い気持ちで使った薬物の効果に心が動かされ二度三度と使っていく内に薬物無しではいられない身体になってしまい、最後には恐ろしい幻覚を見るようになり病院に、というストーリーの演劇で、なぜ断れなかったのか考えさせる場面も劇の中に入れて生徒達に断る勇気の大切さを指導して下さいました。

□2学期の終業式(12月25日)で生徒諸君に伝えたこと

1つ目の話：2学期の沢山あった行事の中で、主役である皆さんを支えてくれた「縁の下の力持ち」に感謝し、これからの人生の中で、今度はみんなが「縁の下の力持ち」として社会を支えてほしいと思います。

2つ目の話：日本の正月に飾る門松としめ縄に込められた歳神様を迎入れ新年を心新たに迎えようとする思いを大切にして、年末年始のこの時期、この雰囲気できかできない心のリセットをしてほしいと思います。

3つ目の話：家の手伝いをしましょう。家の人にやってもらっていることを当たり前と思ってしまうためです。当たり前のことに感謝する気持ちを大切にしましょう。



□3学期の始業式(1月8日)で生徒諸君に伝えたこと

7月16日発行のPTA新聞「きょうわ」に掲載した「私の感謝論」の内容を、生徒に分かり易く伝えました。感謝には、有り難いことへの感謝、当たり前なことへの感謝、有り難くないことへの感謝があり、逆境に感謝できる強い人間になってもらいたいという内容です。

※歳末たすけあい募金20,208円集まりました。ご協力有り難うございました。